

ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE



オリエント・エクスプレス

ミャンマーに新しいリバークルーズを就航

2012年9月



45のホテル、クルーズ、鉄道のラグジュアリービジネスを、22カ国で展開しているオリエント・エクスプレス・ホテルズ・リミテッドは、2013年7月よりミャンマーにて新しいリバークルーズを就航させることを発表いたしました。

オリエント・エクスプレスは既にミャンマーに於いて、ヤンゴンに48室のコロニアル・スタイルのホテル、ザ・ガバナーズ・レジデンスと、これまで17年に渡りエーヤワディー川に周航しているリバークルーズ、ロード・トゥー・マンダレーの2つのビジネスを展開しており、今回新しくヤンゴンにて建造中の定員50名のクルーザーは、それに続きます。

エーヤワディー川に住むイルカの名にちなみ、オルケーラと名づけられるこのエーヤワディー川小艦隊スタイルの船は、魅力的なミャンマーの奥地へと旅するクルーズ・スケジュールを何種類も予定しています。1月から4月、そして7月から12月に運航を予定しているオルケーラは、11泊のクルーズ日程を7本企画しており、どのクルーズでものんびりとした船旅を堪能していただけます。

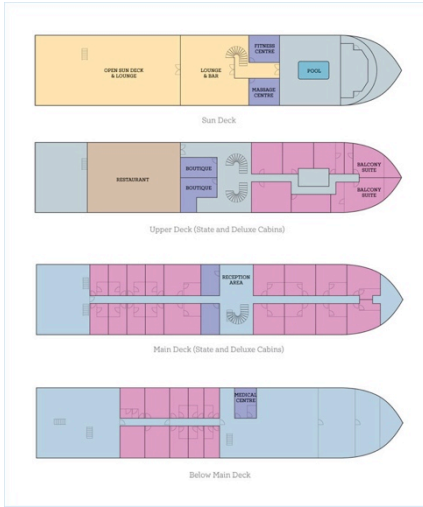
オルケーラはヤンゴンからバモーまで、曲がりくねるエーヤワディー川を進み、途中主要な文化遺産や市街地、さらに人里離れた興味深い遺跡の近くにも錨を下ろします。喫水が低いため機敏に移動可能な船体はチンドウィン川も周航可能で、ミャンマー西部を縫うように、壮大な山脈地帯の脇を進み、北はインド国境からわずか30マイルのホマリンまでも旅します。

オルケーラには40名のスタッフと最大50名のゲストが乗船可能で、オリエント・エクスプレスの名にふさわしい、細部にまで行き届いた気配りと比類なきサービスを提供します。比較的小型な船のサイズと低い喫水のため二つの川の人里はなれた奥地へ進むことも可能となり、魅力的な不思議に包まれた深い歴史と自然美、そして温かい人々に触れる貴重な体験をお楽しみいただけます。これはまさにオリエント・エクスプレスが提供し続けてきた、人を豊かにする発見多き旅のひとつです。

25室の広々としたキャビンには川に面した床から天井までの大きなガラスのスライディングドアとジュリエット・バルコニーを備え、川と岸辺をあたかも額縁で囲むかのように写し出します。優雅な4デッキのリバークルーザーには2室のバルコニー・スイートがメインデッキの船首にあり、さらに15室のステートキャビン、8室のデラックスキャビンがメインデッキ及びアッパーデッキにあります。全キャビンにはエアコンが完備され、バストイレも備え、4室のキャビンはコネクティング可能です。

ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE



展望デッキには格納式の日よけとリクライニングチェアが置かれたリラックスエリアがあり、船の周りを流れ行くドラマチックな風景を眺めるまさに最高の空間です。ラウンジとバーは、ゲストが集まる場所となり、一日中軽食や屋外ダイニングをお楽しみいただけます。また隣にはスイミングプールが設置されています。

設備の整ったフィットネスセンターやトリートメントルームも完備し、現地のスタイルを取り入れた数々のリラックスメニューをお楽しみいただけます。メインデッキにはくつろげるシーティングと大きなピクチャーウィンドウが美しいレストランと、様々な現地の伝統工芸品等を販売する2つのブティックがあります。ロード・トゥー・マンダレー同様、オルケータにも下部デッキに医療室が備わり、資格を持つレジデント・ドクターが常時乗船しています。

オルケータ就航中はクルーズをより満喫いただけるよう、ゲストに興味を持っていただけ、またミャンマーを深く知るには欠かせない少人数向けのオフショア・エクスカージョンが何種類も用意されています。エクスカージョンには、見習い中の僧侶が行う伝統的な儀式を見学する機会や、地元の「コーヒーショップ」体験、ジャングル・トレッキング、植民地時代のゴルフ場のハーフコース体験、モンユワ近郊の山肌に492の仏像が納められた洞窟寺院の見学、パイ近くにある眼鏡をかけた唯一の釈迦像（癒しの力があるといわれます）への訪問、緑深いカチン州のジャングルへの鉄道旅行、そしてビルマのチーク林で働く象たちに出会うコース等、様々な体験をご用意しています。

全行程にオリエント・エクスプレスらしい素敵な演出や工夫があり、船上でご覧いただけるローカル・エンタテインメントのパフォーマンスや情報が盛りだくさんのレクチャー、カクテルパーティー、さらにサンデッキで行うヨガや瞑想等が予定されています。

スケジュールのハイライトを一部ご紹介します：

エーヤワディー川 リバー クルーズ - エーヤワディー川はミャンマーの生命線であり、人々や経済が依存している自然の資源です。フェリー、竹のいかだ、はしけ、釣り船などがこの川を行き来しつつ商売を行い、何世紀にも渡りこの力強い川の岸辺にミャンマーは発展し続け、常に人々の生活を眺めてきました。

ゴージス・オブ・ザ・ファー・ノース（遥か北の峡谷）： 有名なマンダレーから、中国国境に近い雲南の山々のふもとにあるバモーまで、682マイルを航行する11泊のクルーズ。最終目的地はどこまでも広がる寺院が見るものを魅了してやまないバガンです。

ザ・ジュエルズ・オブ・ザ・エーヤワディー（エーヤワディーの宝石）： ヤンゴンを出発し、バガンで終わる7泊、506マイルのクルーズ。旅のハイライトはバガンへのガイド付きエクスカージョンや、イギリス陸軍が一度持ち帰りながらヴィクトリア女王の命令で返却されたブロンズの仏像が納められている「リターニング・ホーム・パゴダ」として知られている Pyi Taw Pyan パゴダの見学等です。

ザ・エーヤワディー・エクスペリエンス： 7泊のクルーズでバガンからヤンゴンまでの506マイルを旅します。ヤンゴン近郊の静かな村シリラムの訪問や、藁とラッカーで作られた約6mの大きな仏像の見学等がこの旅のハイライトです。



ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE

チンドウィン川 リバークルーズ — 細く曲がりくねるチンドウィン川はミャンマー北西部の見事な景色の中を縫うように流れ、垂直の絶壁や深緑のジャングルに隠されるように、また、陸上のアクセスが難しいために今も変わらぬたたずまいを見せる賑やかな町や村の横を通り過ぎていきます。

ディスカバリング・ザ・チンドウィン・リバー： チンドウィン川に沿い、起伏に富む印象的な風景の中、854マイルを11泊かけて航行するクルーズ。旅のハイライトはろうそくに灯されたストリートマーケットや、およそ1000年前にひとつの木から10の仏像が彫られたうちのひとつである Shwe Sagar 仏像を奉る僧院等です。



全ての日程はヤンゴン、インレー湖、そしてインド洋に面したガパリ等での滞在と組み合わせることが可能です。金額はお一人様7泊のクルーズが3,270ユーロからとなり、乗船中のお食事、エクスカージョン、ミャンマー国内の航空券と各種移動費が全て含まれています。またロード・トゥー・マンダレーもオルケーラも貸切でご利用いただくことができ、さらに2隻同時にチャーターすることで132名まで乗船可能となります。

オルケーラはオリエント・エクスプレスが、これからも引き続きミャンマーに携わりゆくことを約束し、真の旅行体験を皆様に提供し続ける証となります。

日本での予約・問い合わせ：
オリエント・エクスプレス

電話 03-3265-1200

オリエント・エクスプレスに関して

オリエント・エクスプレスは、ラグジュアリーホテルと洗練された感動の旅体験を提供するユニークなコレクションを取りそろえています。オリエント・エクスプレス社は、1976年にイタリア、ベニスの名門ホテル・チブリアーニの購入と同時に創設され、その後ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレスとしてロンドン、パリ、ベニスとその他のヨーロッパの都市を繋ぐ豪華列車の運行を開始し、伝説の旅を蘇らせました。以来、究極のラグジュアリーな旅の体験を世界各地で提供しています。現在、オリエント・エクスプレス・ブランドは46のホテル、クルーズ、列車のビジネスを23カ国で展開しています。ホテルは、ベニスのチブリアーニ、サンクトペテルブルグのグランド・ホテル・ヨーロッパ、マドリッドのホテル・リッツ、ケープタウンのマウント・ネルソン、リビエラマヤのマロマ・リゾート&スパなどをはじめとした、世界の名だたる個性的なラグジュアリーホテル・コレクションで、6つの豪華観光列車、2つのリバークルーズ、ニューヨークを代表するレストランの一つ「21」を運営しています。

オリエント・エクスプレスの詳細は、www.orient-express.co.jp でご覧いただけます。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
オリエント・エクスプレス PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

Tel : 03-3403-5328 / Fax : 03-3403-5329 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp

Web : www.kentosnetwork.co.jp / Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

 twitter.com/LUXE_TRAVEL

